

Französische Suiten

Johann Sebastian Bach

J.S. バッハ 六つのフランス組曲より

第3番 口短調 BWV814

アルマンド (*Allemande*)

クーラント (*Courante*)

サラバンド (*Sarabande*)

アングレーズ (*Anglaise*)

メヌエットとトリオ (メヌエット II)

(*Menuet und Trio (Menuet II)*)

ジーク (*Gigue*)

解説付き

●フランス組曲について

ヨハン・ゼバスティアン・バッハ (*Johann Sebastian Bach, 1685- 1750 年*) が作曲したクラヴィーアのための曲集 フランス組曲 BWV812-817 (*Französische Suiten BWV 812-817*) は、バッハがケーテンで過ごした 1722 年から 1723 年頃に作曲されたと考えられています。

この時期、バッハは先妻であるマリア・バルバラ・バッハを亡くし、2 度目の妻アンナ・マグダレーナ・ヴィルケと結婚しましたが、その時期の作品と推定されています。

「フランス組曲」というタイトルは、バッハ自身が付けたのではなく、後に付けられたものです。誰がどういう理由でつけたのかは不明ですが、曲調がフランス風であるからとか「イギリス組曲」との区別のためにバッハの息子たちが便宜的に付けたという節もあります。組曲は、いくつかの舞曲をひと組にまとめた構成となっています。

●第 3 番 口短調 BWV814

アルマンド (*Allemande*)

この第 3 番のアルマンドは、2 声のインヴェンションのような書法となっています。明確な主題と対旋律は置かれていませんが、冒頭の 16 分音符のフレーズ  は、この曲のモチーフとなっています。全体にフレーズ表記致しました。

Allemande (仏) は、「ドイツ風」の意味です。16 世紀のフランスでは「地面に足をつけた中庸の遅さ」の 2 拍子のダンスでしたが、17 世紀には作曲家によってテンポに、ある程度の自由度がある 4 拍子の舞曲にされました。

テンポや強弱を表記していない楽譜が多いと思いますが、参考程度に記させて頂きました。テンポは、*moderato*。しつとりと演奏して良いように思います。強弱は、全体に *P* から *mf*、最後に *f* 表記させて頂きましたが、演奏者により解釈は分かれると思います。

❖ (トリル (伊 *Trillo*)、プラルラー (独 *Praller*) 又はプラルトリラー (独 *Pralltriller*) とも言います。) は、一たん 2 度上の音に、❖ (モルデント (英・独 *Mordent*)) は、一たん 2 度下の音に出て戻ります。装飾音にシャープがつく場合は、シャープ表記致しました。下から開始音のあるトリルは、トリルの前に接頭語が付いた記号で、以下のように奏します。(トリルの数は、曲想や拍により異なります。)



クーラント (Courante)

後期ルネサンスからバロック時代の3拍子の舞曲の一種です。古いフランスの社交舞踏から由来した2分の3拍子または4分の6拍子の交代を伴う活発な舞曲で、バロック時代の組曲では一般にアルマンドとサラバンドの間におかれます。

クーラント（フランス語：*courante*）は、コレンテ（イタリア語：*corrente*）とも言います。フランスタイプのクーラントとイタリアタイプのコレンテに分かれます。イタリアタイプは第2番のように速いダンスで4分の3拍子の単純拍子で書かれています。第2, 4, 5, 6番は、イタリアタイプとなります。それに対し、第1番と第3番はフランスタイプとなりますが、第1番は2分の3拍子、第3番は4分の6拍子で書かれています。

モチーフは、以下のようになります。曲全体にフレーズ表記致しました。

Allegro vivace

6/4

f

1 2 3 4 5

3 小節目の装飾音は、以下のように演奏下さい。

奏法(演奏例)

サラバンド (Sarabande)

サラバンド（フランス語：*sarabande*、イタリア語：*sarabanda* サラバンダ）とは、3拍子による荘重な舞曲です。組曲の中で、最も遅い舞曲となっています。

サラバンドの一般的なりズム型は、 $\frac{3}{4}$ ♩ ♩ ♩ | ♩ ♩ | となります。

特徴として、重々しい3拍子のリズムであるという点(4分の3拍子あるいは2分の3拍子)以外に4小節単位の小楽節2つからなる8小節分の大楽節である事。上記リズム型の第2,3拍でアウフタクトとして、次の小節の第1拍につなげるというリズムも特徴と言えます。

第3番のサラバンドは、繊細で柔和な趣の舞曲と思います。